

9. 保育実習（保育実習理論及び保育実習実技） - 出題範囲（抜粋）

A 保育実習理論

「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について」（平成 15 年 12 月 9 日付け雇児発第 1209001 号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知）別紙 3 「教科目の教授内容」に定める教科目「保育内容の理解と方法」、「保育内容総論」、「保育内容演習」、「保育実習 I」、「保育実習指導 I」、「保育実践演習」、「保育者論」、及び「保育の計画と評価」の内容とする。（以下参照）

B 保育実習実技

1 音楽に関する技術

課題に対する器楽・声楽等

2 造形に関する技術

課題に対する絵画・制作等

3 言語に関する技術

課題に対する言葉に関する遊びや表現等

<教科目名> 保育内容の理解と方法
<内容> 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と、保育所保育指針に示される保育の内容を踏まえて、子どもの生活と遊びにおける体験（※）と保育の環境を捉え、以下の知識・技術を学ぶ。 1. 子どもの生活と遊びにおける他者（保育士等や他の子ども）との関係や集団の中での育ちの理解と援助に関わる知識及び技術 2. 子どもの生活や遊びにおいてイメージを豊かにし、感性を養うための環境の構成と保育の展開に必要となる知識及び技術 3. 子どもの生活と遊びにおける様々な遊具や用具、素材や教材等の特性の理解と、それらの活用や作成に必要となる知識及び技術 ※子どもの生活と遊びにおける体験の例 ① 見立てやごっこ遊び、劇遊び、運動遊び等における体験 ② 身近な自然やものの音や音色、人の声や音楽等に親しむ体験 ③ 身近な自然やものの色や形、感触やイメージ等に親しむ体験 ④ 子ども自らが児童文化財（絵本、紙芝居、人形劇、ストーリーテリング等）に親しむ体験

<教科目名> 保育内容総論

<内容>

1. 保育の全体構造と保育内容

- (1) 保育所保育指針に基づく保育の全体構造と保育内容の理解
- (2) 保育の内容の歴史の変遷とその社会的背景
- (3) 子どもの発達や生活に即した保育の内容の基本的な考え方

2. 保育の基本を踏まえた保育内容の展開

[保育の基本的な考え方]

- ・養護及び教育が一体的に展開する保育
- ・子どもの主体性を尊重する保育
- ・環境を通して行う保育
- ・生活や遊びによる総合的な保育
- ・個と集団の発達を踏まえた保育
- ・家庭や地域、小学校等との連携を踏まえた保育 等

3. 保育の多様な展開

- (1) 長時間の保育
- (2) 特別な配慮を要する子どもの保育
- (3) 多文化共生の保育

<内容>

以下の視点から、保育における子どもの生活や遊びを総合的に捉え、保育を展開していくための方法や技術、子どもの実態や状況に即した援助や関わりについて、具体的に学ぶ。

1. 子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わりである「養護」

- ① 子どもの生理的欲求を満たし、子どもが健康、安全、快適に過ごすための生活援助
- ② 子どもを受容し、子どもが安心感と安定感をもって過ごすための援助や関わり

2. 子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達への援助である「教育」

(1) 保育所保育指針に示す乳児保育における3つの視点

- ① 「健やかに伸び伸びと育つ」(健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力の基盤を培う)
- ② 「身近な人と気持ちが通じ合う」(受容的・応答的な関わりの中で、何かを伝えようとする意欲や身近な大人との信頼関係を育て、人と関わる力の基盤を培う)
- ③ 「身近なものに関わり感性が育つ」(身近な環境に興味や好奇心をもって関わり、感じたことや考えたことを表現する力の基盤を培う)

(2) 保育所保育指針に示す1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育におけるそれぞれ5つの領域

- ① 「健康」(健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う)
- ② 「人間関係」(他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う)
- ③ 「環境」(周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う)
- ④ 「言葉」(経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う)
- ⑤ 「表現」(感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする)

<教科目名> 保育実習 I

<保育所実習の内容>

1. 保育所の役割と機能
 - (1) 保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり
 - (2) 保育所保育指針に基づく保育の展開
2. 子どもの理解
 - (1) 子どもの観察とその記録による理解
 - (2) 子どもの発達過程の理解
 - (3) 子どもへの援助や関わり
3. 保育内容・保育環境
 - (1) 保育の計画に基づく保育内容
 - (2) 子どもの発達過程に応じた保育内容
 - (3) 子どもの生活や遊びと保育環境
 - (4) 子どもの健康と安全
4. 保育の計画・観察・記録
 - (1) 全体的な計画と指導計画及び評価の理解
 - (2) 記録に基づく省察・自己評価
5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理
 - (1) 保育士の業務内容
 - (2) 職員間の役割分担や連携・協働
 - (3) 保育士の役割と職業倫理

<児童福祉施設等(保育所以外)における実習の内容>

1. 施設の役割と機能
 - (1) 施設における子どもの生活と保育士の援助や関わり
 - (2) 施設の役割と機能
2. 子どもの理解
 - (1) 子どもの観察とその記録
 - (2) 個々の状態に応じた援助や関わり
3. 施設における子どもの生活と環境
 - (1) 計画に基づく活動や援助
 - (2) 子どもの心身の状態に応じた生活と対応
 - (3) 子どもの活動と環境
 - (4) 健康管理、安全対策の理解
4. 計画と記録
 - (1) 支援計画の理解と活用
 - (2) 記録に基づく省察・自己評価
5. 専門職としての保育士の役割と倫理
 - (1) 保育士の業務内容
 - (2) 職員間の役割分担や連携
 - (3) 保育士の役割と職業倫理

<教科目名> 保育実習指導 I

<内容>

1. 保育実習の意義
 - (1) 実習の目的
 - (2) 実習の概要
2. 実習の内容と課題の明確化
 - (1) 実習の内容
 - (2) 実習の課題
3. 実習に際しての留意事項
 - (1) 子どもの人権と最善の利益の考慮
 - (2) プライバシーの保護と守秘義務
 - (3) 実習生としての心構え
4. 実習の計画と記録
 - (1) 実習における計画と実践
 - (2) 実習における観察、記録及び評価
5. 事後指導における実習の総括と課題の明確化
 - (1) 実習の総括と自己評価
 - (2) 課題の明確化

<教科目名> 保育実践演習

<内容>

1. 学びの振り返り

グループ討論、ロールプレイング等の授業方法を活用し、以下の①～④の観点を中心に、これまでの自らの学びを、保育実習等における体験と結びつけながら振り返る。

 - ① 保育士の意義や役割、職務内容、子どもに対する責任、倫理
 - ② 社会性、対人関係能力
 - ③ 子どもやその家庭の理解、職員間の連携、関係機関との連携
 - ④ 保育や子育て家庭に対する支援の展開
2. 保育に関する現代的課題の分析に基づく探究

グループワークや研究発表、討論等により、保育に関わる今日の社会的状況等の課題について自ら問いを立て、その要因や背景、課題解決の方向性及びその具体的内容や方法等について検討する。
3. 1及び2を踏まえて、自身の習得した知識・技術等と保育に関する現代的課題等から、自己の課題を把握する。

その上で、目指す保育士像や今後に向けて取り組むべきこと及びその具体的な手段や方法等を明確化する。

<教科目名> 保育者論

<内容>

1. 保育者の役割と倫理
 - (1) 役割・職務内容
 - (2) 倫理
2. 保育士の制度的位置付け
 - (1) 児童福祉法における保育士の定義
 - (2) 資格・要件
 - (3) 欠格事由、信用失墜行為及び秘密保持義務等
3. 保育士の専門性
 - (1) 保育士の資質・能力
 - (2) 養護及び教育の一体的展開
 - (3) 家庭との連携と保護者に対する支援
 - (4) 計画に基づく保育の実践と省察・評価
 - (5) 保育の質の向上
4. 保育者の連携・協働
 - (1) 保育における職員間の連携・協働
 - (2) 専門職間及び専門機関との連携・協働
 - (3) 地域における自治体や関係機関等との連携・協働
5. 保育者の資質向上とキャリア形成
 - (1) 資質向上に関する組織的取組
 - (2) 保育者の専門性の向上とキャリア形成の意義
 - (3) 組織とリーダーシップ

<教科目名> 保育の計画と評価

<内容>

1. 保育の計画と評価の基本

- (1) カリキュラムの基礎理論
- (2) 保育における計画と評価の意義
- (3) 子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）の循環による保育の質の向上

2. 保育所における保育の計画

- (1) 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容及び社会的背景
- (2) 保育所保育指針における保育の目標と計画の基本的考え方
- (3) 全体的な計画と指導計画の関係性
- (4) 全体的な計画の作成
- (5) 指導計画（長期的・短期的）の作成
- (6) 指導計画作成上の留意事項
- (7) 計画に基づく保育の柔軟な展開

3. 保育所における保育の評価

- (1) 保育の記録及び省察
- (2) 保育士及び保育所の自己評価
- (3) 保育の質向上に向けた改善の取組
- (4) 生活と発達の連続性を踏まえた保育所児童保育要録